

人間総合科学研究科「医学セミナー」

演題：“安全な”再生医療のための新たな細胞ソース
～抜去歯幹細胞が秘める疾患治療の可能性～

演者： 中原 貴 教授

日本歯科大学 生命歯学部

発生・再生医科学講座



日付： 2015年1月27日（火）

時間： 17：30 ～ 19：00

場所： 4A 411室

要旨：

わが国発の革新的技術であるiPS技術は、幹細胞をもちいる再生医療にむけた大きな原動力となり、2014年9月には世界に先駆けてiPS細胞の再生医療が現実のものとなった。

一方、iPS細胞以前の幹細胞ソースとしては主に骨髄が知られ、ついで脂肪が注目を集めてきた。これらの組織幹細胞とよばれる一連の細胞群は、自家幹細胞として入手可能であり、かつ、がん化のリスクが低いため、安全な再生医療には欠かせない幹細胞であることに、現在も変わりはない。

われわれは、新たな組織幹細胞ソースとして歯科に特有の抜去歯に着目し、複数の抜去歯幹細胞の分離培養に成功している。これらの幹細胞は、腸骨から得た骨髄幹細胞をはるかに凌ぐ増殖能を有し、さらに同等の多分化能を誇る。

本講演では、抜去歯幹細胞の魅力的なポテンシャルと共に、将来の再生医療を見据えた本学独自の取り組みについて紹介する。そして、“安全な”医療を提供すべきわれわれ医療人としての原点を再考する機会になれば幸いである。

<参考文献>

バイオ再生医療の現状と展開～“安全な”歯科医療を再考する～，日本歯科医師会雑誌，67(6)：21-32，2014.

連絡先： 医学医療系 顎口腔外科学 武川 寛樹 (7934, 3050)